

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 4月 1日

事業所名 あすなるクラブ鍋島

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			広い方だと思う	
	2	職員の配置数は適切である	9			なるべく1対1で支援できるように配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			9	構造化された空間で、支援をおこなっている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9			毎回、支援者同士振り返りをおこなうようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			貴重なご意見は、必ず把握するようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			事業所ホームページに載せるようにしている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			9		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			コロナ禍で、研修を控えていたが、今年は、研修の機会を確保できた。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			アセスメントを行い、職員みんなで話し合って支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			朝の少しの時間しか、確保できていないが、必ずチームでおこなっている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			子どもたちが楽しくできるような活動を提案している。 放課後は、宿題重視	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			で、長期休みは、楽しい活動をおこな	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			子どもたちの状況を踏まえて作成している。	コロナ禍で、集団活動はあまり行っていない
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			朝礼、昼礼、終礼とおこない、報告をおこなっている。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		毎日、情報の共有をおこなっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		ケース記録等に記入 また、情報を共有している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		半年に1回見直しをおこなうようにしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9		おこなうようにしている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		児発管や児童指導員が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9		年間計画やマニュアルに沿って、適切におこなっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		9	今は、ケアのご利用者様がない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9		努めるようにしている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		保護者様や本人から要望があるときはおこなっている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		助言や研修を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		9		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		9	中部地区放課後デイサービスに月に一度参加をして、事業所同士の情報交換や研修などに参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		連絡帳や気になる時には、お電話で共通理解を持っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9		お電話や連絡帳を通して、困りごとなどのお話を伺うようにしている。 場合に応じて、助言等おこなっている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		ご契約時、丁寧に説明をおこなっている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		お電話や連絡帳を通して、困りごとなどのお話を何うようになっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9		毎月保護者同士のお茶会を開催するようにして、情報交換の場を提供している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		苦情などがあった場合迅速に対応するよう心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		2か月に1回、通信を発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	9		鍵のかかる棚で保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		常にスタッフ全員で配慮している。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		9		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9		年間5回ほどの、訓練をおこなうように、年間スケジュールにのせている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		年間5回ほどの、訓練をおこなうように、年間スケジュールにのせている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		職員研修を毎年行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		身体拘束を行う場合は、支援計画に記載するようにしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		保護者とも連携をとり、対応するようにしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		問題発生後は、全事業所で共有するようにしている。	